

光に満ちたまちづくり (ホタルとともに)

鹿児島県さつま町

奥薩摩のホタルを守る会

手づくりの郷土賞について

講評

一般部門

大賞部門

資料集

一級河川川内川の神子地区は平成13年度に親水性の高い階段護岸が整備されました。また、隣接地区にも水辺の楽校が整備され、周辺の公園施設や地区のコミュニティセンター等の公共施設と一体となり、地域の交流拠点となっています。

船着場として利用できる階段護岸や水辺の楽校等が整備されたことをきっかけに、ホタルの一大群生地という、それまで意識されていなかった地域資源を活かそうと、平成14年に地元住民等約40名を中心に「奥薩摩ホタル舟実行委員会」を発足。以後、毎年「ホタル舟」の運航を行っています。

平成18年7月に川内川流域を襲った豪雨災害により、神子地区の護岸も大きな被害を受け、生息環境を失いホタルが激減しました。

そこで「奥薩摩のホタルを守る会」は、アシの植え込みやホタルの餌となるカワニナの生息状況調査を継続的に行うなど、ホタル生息環境の保全に努めました。こうした活動により、近年では最

盛期の8割近くまで、ホタルが回復するに至っています。

ホタル舟運航やホタルの生息環境の保全など、一連の活動が話題となり、ホタル舟運航時には、毎回180名近いボランティアが町全体から集ってくれるようになりました。また、舟運航コース沿いにある民家では、ホタル鑑賞の支障にならないよう、ホタル舟の運航時には自発的に消灯をして頂くようになりました。さらに、ホタルを見に集まった乗船者らを少しでも喜ばせようと、川沿いの民家に住む複数の児童らは、ホタル舟が自宅前を通ると自主的に童謡「ホタルこい」を歌ってくれたりもします。

こうした様々な世代による地域ぐるみのもてなしがホタル同様に好評となり、ここにしかない感動と感銘」を求めて多くの観光客が訪れるようになり、遠くは東京や北海道からも多数の乗船希望者が訪れる一大イベントに成長しました。



一級河川川内川に生息する無数のホタル群



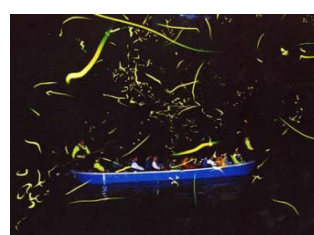
河川の清掃活動



植栽の植え込み活動



ホタル舟に乗込み、鑑賞に向かう様子



ホタル舟運航時の様子

- ◆所在地
鹿児島県薩摩郡さつま町神子地内
- ◆活動内容
河川内の清掃、乗船場や下船場周辺の除草、ゴミ回収、樹木の伐採
河岸植栽、カワニナの生息状況調査（年2回）
ホタル学習会
- ◆活動主体及び連絡先
奥薩摩のホタルを守る会（さつま町鶴田支所総務係 0996-53-1111）
- ◆対象となる社会資本
一級河川川内川
※管理者：国土交通省川内川河川事務所（管理課：0996-22-3271）

